

公益財団法人SGH財団 第14回 市民公開講座

泌尿器科がん:診断・治療の最前線

泌尿器科が関係する臓器にできるがんは高齢者に多い病気です。この公開講座を通して泌尿器科がんの診断、治療の最先端を知って頂き、共に健康長寿を目指しましょう。

日時

平成28年 **2月21** 日(日)

開場 12:30 / 開演 13:00 / 閉演予定 15:40

会場

新大阪イベントホール

レ ルミエール

主催:公益財団法人SGH財団
後援:公益財団法人日本対がん協会
協力:SGホールディングス株式会社
佐川急便株式会社
佐川アドバンス株式会社



スケジュール

12:30 開場

13:00 開演

主催者挨拶

公益財団法人SGH財団理事長
SGホールディングス株式会社代表取締役会長
佐川急便株式会社社長

栗和田 榮一

基調講演

高齢者の敵、泌尿器科がんを知る

京都大学医学部泌尿器科教授

小川 修

講演

もう前立腺がんなんてこわくない

大阪大学医学部泌尿器科教授

野々村 祝夫

ここまで進歩した一腎臓がん診断・治療の最先端

近畿大学医学部泌尿器科教授

植村 天受

膀胱がんと診断されたら？

京都大学医学部泌尿器科講師

松井 喜之

休憩

パネルディスカッション

司会 小川 修

パネリスト 野々村 祝夫、植村 天受、松井 喜之

15:30 挨拶

公益財団法人SGH財団理事
京都大学医学部放射線治療科教授

平岡 真寛

15:40 閉演

基調講演「高齢者の敵、泌尿器科がんを知る」



日本では急速に高齢化が進んでいます。そして、高齢者の方々が一日でも長く健康的な生活を送ることができるようにすることは、私たち日本人全員が直面している重要な課題になってきています。泌尿器科が取り扱うがんは主に高齢者の方に多く発生し、健康寿命に大きなインパクトを与えます。さらに、年々増加傾向にもあり、まさしく「高齢者の敵」となっています。「敵を知り、己を知れば百戦危うからず」のことわざのように、この公開講座を聴いていただくことによって、その「高齢者の敵」を良く知っていただきたいと思います。そして一緒に健康で幸せな長寿社会を作っていきましょう。

京都大学医学部泌尿器科教授

小川 修

学 歴

昭和57(1982)年 3月 京都大学医学部卒業
平成 5(1993)年 3月 京都大学大学院博士課程終了

職 歴

昭和58(1983)年 6月 (財)田附興風会北野病院(泌尿器科医員)勤務
平成 3(1991)年10月 ニュージーランドオタゴ大学(研究員)勤務
平成 5(1993)年11月 京都大学医学部附属病院(泌尿器科助手)勤務
平成 8(1996)年12月 秋田大学医学部泌尿器科学講座 助教授
平成10(1998)年12月より現職

講演「もう前立腺がんなんてこわくない」



前立腺癌は昨年、日本人男性の中で最も罹患率の高い癌になりました。これは日本人の超高齢化を反映しているとともに、PSAによる検診が少しずつ普及してきたことにもよります。予防面についてはまだまだ研究段階ではありますが、早期発見の可能な癌と言えます。待機療法、放射線療法、手術療法、薬物療法と、その治療オプションは非常に多岐にわたっています。早期癌が見つかって来院された患者様は、どの治療を受けるのが一番良いのかしばしば悩まれるようです。早期癌の治療オプションを中心に、様々な治療法をわかりやすく解説し、ご来場頂いた方々にとって有益な情報を提供したいと思います。

大阪大学医学部泌尿器科教授

野々村 祝夫

学 歴

昭和61(1986)年 3月 大阪大学医学部 卒業
平成 2(1990)年 3月 大阪大学大学院博士課程修了

職 歴

平成 2(1990)年 4月 東大阪市立中央病院泌尿器科医員
平成 3(1991)年 11月 米国NIH留学(1993年12月まで)
平成 6(1994)年 1月 大阪大学泌尿器科 助手
平成10(1998)年 8月 同 講師
平成17(2005)年 2月 同 助教授
平成19(2007)年 4月 同 准教授
平成22(2010)年 10月 同 教授
現在に至る

専門領域

前立腺癌、腎癌、精巣癌の治療

講演「ここまで進歩した—腎臓がん診断・治療の最先端」



腎臓の働きは、いらなくなった物質(老廃物)を尿と一緒に体外に排出させたり、血圧の調節や血液を作ったり、骨を強くするための活性型ビタミンDを作るなど極めて大切な臓器です。腎臓にできる腫瘍(できもの)のなかで、最も多いのが腎臓がんで、放っておくと「確実に死に至る」恐ろしい病気です。もちろん早期発見・早期治療が重要なのですが、病気が進行するまでほとんど症状が出ないのが難点です。腎臓がんの治療はここ10年で手術療法・薬物治療ともに大きな変革を遂げてきました。この市民講座では、怖い病気「腎臓がん」に対して、めざましい進歩を遂げている最新の診断・治療についてわかりやすくご紹介したいと思います。

近畿大学医学部泌尿器科教授

植村 天受

学 歴

昭和58(1983)年 3月 奈良県立医科大学卒業

職 歴

平成 元(1989)年 1月 奈良県立医科大学 助手(泌尿器科)
平成 3(1991)年 7月 オランダナイメヘン大学医学部研究員(文部省在外研究員)
平成 6(1994)年 11月 PhD オランダナイメヘン大学
平成 7(1995)年 11月 博士(医学)奈良県立医科大学
平成 9(1997)年 3月 奈良県立医科大学 講師(泌尿器科)
平成15(2003)年 7月 同上 助教授(泌尿器科)
平成16(2004)年 4月 近畿大学医学部 主任教授(泌尿器科)
平成22(2010)年 10月 近畿大学医学部附属病院副病院長
現在に至る

その他

日本泌尿器科学会理事・学術委員長・財務委員・総務委員など、日本泌尿器内視鏡学会評議員、日本バイオセラピー学会評議員・学術委員、日本老年泌尿器科学会評議員、大阪腎臓バンク理事、日本泌尿器科学会関西地方会運営委員長など

講演「膀胱がんと診断されたら？」



膀胱がんと聞いて、その治療法についてピンとくる方はなかなか少ないのではないのでしょうか？ たしかに膀胱がんは非常にやっかいな病気ではありますが、正確にその病態を理解して適切な治療法を選択すれば恐れることはありません。

本日は皆様に、現在我々が行っている膀胱がんに対する標準治療とあわせて、近年の新たな診断技術や治療法の進歩をご紹介します。膀胱がんに対する理解を深めていただく一助となれば幸いです。

京都大学医学部泌尿器科講師

松井 喜之

学 歴

平成 8(1996)年 3月 京都大学医学部卒業
平成20(2008)年 3月 京都大学大学院修了

職 歴

平成 8(1996)年 6月 京都大学医学部附属病院研修医
平成10(1998)年 6月 神戸中央市民病院専攻医
平成13(2001)年 6月 倉敷中央病院医師
平成17(2005)年 8月 平成17年度日本学術振興会特別研究員(21COE)
平成20(2008)年 4月 The Prostate Centre at VGH (Canada) Post-doctoral fellow
平成22(2010)年 4月 京都大学大学院医学研究科 助教
平成26(2014)年 4月 京都大学大学院医学研究科 講師

その他

日本泌尿器科学会、日本癌学会、日本癌治療学会、日本泌尿器内視鏡学会、
日本内視鏡外科学会、日本泌尿器病理研究会、米国泌尿器科学会、VR医学会、
Urological Research Society

国民の半数が罹患するがんは文字通りの国民病です。SGH財団はがん撲滅の一助として、毎年、がんに関する市民公開講座を実施しています。今回は最近増加している泌尿器がんを取り上げ、「泌尿器科がん:診断・治療の最前線」をテーマとしました。前立腺がん、腎臓がん、膀胱がんという代表的な泌尿器がんについて、専門医により最新の情報をわかりやすく講演していただきます。多くの方の参加をお待ちしています。



コーディネーター

京都大学医学部放射線治療科
教授

平岡 真寛

学 歴

昭和52(1977)年 3月 京都大学医学部卒業
昭和59(1984)年 3月 京都大学大学院医学研究科博士課程修了

職 歴

昭和59(1984)年 4月 京都大学医学部附属病院放射線科助手
昭和62(1987)年 1月 米国スタンフォード大学放射線腫瘍科客員助教授
平成 元(1989)年 6月 京都大学医学部講師
平成 4(1992)年 1月 京都大学医学部助教授
平成 7(1995)年 6月 京都大学大学院医学研究科教授
平成18(2006)年 4月 京都大学ナノメディシン融合教育ユニット長 併任(～平成22年3月)
平成19(2007)年 4月 京都大学医学部附属病院がんセンター長 併任(～平成21年5月)
平成24(2012)年12月 京都大学産官学連携本部副本部長

司会

フリーアナウンサー

植月 百枝

これまでの市民公開講座

第13回「こんなに進んだ乳がん治療！」

開催日:平成27年3月15日(日) 会場:大阪国際会議場(大阪市)

第12回「輝いて生きる」

開催日:平成26年2月16日(日) 会場:よみうりホール(東京都千代田区)

第11回「がんと人生」

開催日:平成25年3月24日(日) 会場:有楽町朝日ホール(東京都千代田区)

第10回「子宮がんの予防と治療」

開催日:平成24年3月20日(火・祝) 会場:国立京都国際会館(京都市)

第9回「乳がんの治療と診断」

開催日:平成23年3月27日(日) 会場:京都大学 時計台ホール(京都市)

第8回「集学的がん治療」～治療成績向上を目指したチーム医療～

開催日:平成22年3月28日(日) 会場:京都大学 時計台ホール(京都市)

共催:文部科学省がんプロフェッショナル養成プラン

第7回「がん治療最前線」～大きく変わるがん治療(薬物、放射線、外科治療)～

開催日:平成21年3月22日(日) 会場:東海テレビ テレビピアホール(名古屋市)

共催:NPO法人日本臨床腫瘍学会

第6回「府民とともに考える京都のがん医療」

開催日:平成20年2月2日(土) 会場:京都産業会館 シルクホール(京都市)

共催:京都新聞社

第5回「大腸がんの最前線」

開催日:平成19年3月17日(土) 会場:京都市北文化会館(京都市)

第4回「肺がんの最新情報」

開催日:平成18年3月25日(土) 会場:京都産業会館 シルクホール(京都市)

第3回「がんの予防と胃癌治療の最前線」

開催日:平成17年2月26日(土) 会場:京都会館第二ホール(京都市)

第2回「前立腺がんの最新情報」

開催日:平成16年3月20日(土・祝) 会場:国立京都国際会館(京都市)

第1回「乳がんの最新情報」

開催日:平成15年2月1日(土) 会場:京都市北文化会館(京都市)

共催:京都新聞社

= MEMO =

公益財団法人SGH財団概要

設立 昭和61年2月14日(平成22年11月1日公益財団法人へ移行)

理事長 栗和田 榮一

(SGホールディングス株式会社代表取締役会長／佐川急便株式会社会長)

目的 国際的で活力ある社会の創造に向け、多面的かつ幅広く社会活動に寄与することを目的として、経済・産業、教育・文化、医療・福祉等の振興・発展を図るための研究及び事業への助成等を行う。

事業 東南アジア諸国からの外国人留学生に対する支援事業
がん(癌)に関する基礎研究及び応用治療研究に対する助成・褒賞等の支援事業
経済・産業活動を支える運輸・物流に関する支援事業
上記に関する情報資料収集及び出版物の刊行、講演会等による普及・啓発活動 など

所在地 〒600-8009 京都市下京区函谷鉾町79 ヤサカ四条烏丸ビル9階

TEL: 075-255-9310

FAX: 075-255-9311

e-mail: info_cr@sgh-foundation.or.jp URL: <http://www.sgh-foundation.or.jp>



公益財団法人佐川美術館

[開館時間] 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

[休館日] 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始、展示替期間

[入館料] 一般1,000円／高大生600円

中学生以下無料(※保護者の同伴が必要)

[所在地] 〒524-0102 滋賀県守山市水保町北川2891

TEL: 077-585-7800 FAX: 077-585-7810

比叡・比良山を望む琵琶湖のほとりに佇む佐川美術館。水庭が建物を取り囲むように大胆に配置され、「水に浮かぶ美術館」と称される館は和の印象を重視し、モノトーンを基調とした南北2棟と水没した地下展示室から成り、水の揺らぎや光と影を演出しています。

日本画家「平山郁夫」・彫刻家「佐藤忠良」・陶芸家「楽吉左衛門」3作家の展示を中心に、ジャンルを問わずバラエティーに富んだ展覧会やイベントを開催しています。